

- (5) 工事の効率性向上による長期的コストの低減
工事における規制改革（施策番号 ）

工事へのISO9000sの適用における品質の確保、監督業務の効率化

地域振興整備公団

鳥栖都市開発事務所 鳥栖地区区画道路舗装(13-2)工事

【施策の概要】

公共工事の品質保証水準のより一層の向上を目指す観点より、当該工事において品質管理・品質保証の国際規格であるISO9000sの認証取得を競争参加資格とするISO9000s適用工事を試行しました。

【施策のポイント】

- ・ISO9000s適用工事を試行により、品質の確保、監督業務の効率化、コスト縮減等を図りました。
- ・従来の監督業務のうち、直接工事に関連し、請負業者の品質管理活動に関わり、かつ受発注者双方にとって負担が軽減できると考えられる「指定材料の確認」、「工事施工状況確認（段階確認）」、「工事施工立会い」について原則として請負者の自主的な品質管理活動を活用して実施しました。

【施策の実施状況・イメージ図】

(1)監督業務の内容変更

「指定材料の確認」

工事で用いる全ての材料について、品質・規格の試験、立会い、または確認を請負者の自主検査記録の確認に置き換えました。

「段階確認」

項目の区分によって、従来通りまたは請負者の自主検査記録に置き換えました。

表-1 項目の区分別の確認方法

	項目の区分	確認する方法
1	掘削長さ、支持地盤等設計 変更に関する項目	従来通り「段階確認」を実施
2	あらかじめ試験矢板、試験杭の施工 を行う事になっている項目	あらかじめ試験矢板、試験杭に定められたものについては、従前どおり「段階確認」を実施し、それ以外の矢板、杭については請負者の自主検査記録を適切な時期にサンプリングによって確認
3	確認の程度が1回 / 1工事、1回 / 1構造物等と定められている項目	請負者の自主検査記録を適切な時期に確認
4	その他の項目	請負者の自主検査記録を適切な時期にサンプリングによって確認

「工事施工の立会い」

上記と同様です。